

第 66 回地域農林経済学会大会のご案内

2016 年 6 月 日

地域農林経済学会

第 66 回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。特別シンポジウムの開催も予定しておりますので、会員の皆様はもとより、非会員の皆様もぜひご参加ください。

1. 期 日 2016 年 10 月 28 日（金）～10 月 30 日（日）

2. 日程および会場

2-1. 開催地：近畿大学経済学部（東大阪キャンパス）

住 所 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

連絡先 池上 甲一 TEL：0742-43-9203 E-mail：ikegami@nara.kindai.ac.jp

多田 稔 TEL：0742-43-7268 E-mail：tadam@nara.kindai.ac.jp

2-2. 地域農林経済学会大会日程

開催場所・時間は何れも予定です。必ず、大会前に学会ホームページでご確認ください。

【第 1 日】 10 月 28 日（金）特別シンポジウム（BLOSSOM CAFÉ 14：00～16：30）

【第 2 日】 10 月 29 日（土）大会パネルディスカッションおよび個別報告（B 館講義室）

○個別報告① [9:30～14:30]（B 号館教室）（受付開始 8:30）

○会長挨拶 [14:45～14:50]（B-101 教室）

○大会パネル
ディスカッション [14:50～16:45]（B-101 教室）

○総会 [17:00～18:00]（B-101 教室）

○懇親会 [18:40～20:30]（11 月ホール・Cafeteria November）

【第 3 日】 10 月 30 日（日）個別報告（B 号館教室）

○個別報告② [9:00～13:00]（B 号館教室）

※終了時刻は変更することがあります。

【その他】 10 月 28 日（金）

編集委員会 [16:45～17:45]（B-501 教室）

理事会 [18:00～20:00]（B-501 教室）

10 月 29 日（土）

個別報告優秀賞審査委員会 [12:00～12:50]（B-501 教室）

（同打ち合わせ会議 [8:45～9:15]）（B-501 教室）

新理事会 [18:05～18:30]（B-501 教室）

（注）大会会場の地図・交通案内等は、本文末尾をご参照ください。

2-3. 参加費用等

・大会参加費：普通会員3,000円，非会員4,000円，学生会員・学生非会員1,000円

・懇親会費：普通会員5,000円，学生会員3,000円

（事前申し込みの場合には普通会員4,000円，学生会員2,500に割引します。）

懇親会の参加申し込みについては、下記6(3)をご参照ください。

3. 特別シンポジウム「食農教育と大学の地域貢献」

10月28日(金) [14:00

～16:30]

大学を社会に向けて開き、その研究成果や資源を社会全体のウェルビーイングの向上に結びつけていく動きが広がっている。こうした大学開放には公開講座・公開授業のようなタイプ、産官学連携による新技術や産業の開発を目指すタイプ、大学の周辺コミュニティや市民組織と協力して社会的課題を解決する地域連携タイプなどさまざまな形態がある。それぞれのタイプに応じて、大学には異なった役割が求められることになるだろう。

食農教育もこうした大学開放の中に位置づけることで、いろいろな可能性が生まれてくるのではないだろうか。2016年3月には2016年度～2020年度を期間とする第3次食育推進基本計画が策定され、地場産農産物の利用、食文化の継承、子どもや高齢者の食、食と環境などが重要課題として掲げられた。

これらの課題に対して、とくに農業や食に関する学部を持つ大学はどのような役割を果たしているのか、またどのような役割を期待されているのだろうか。そうした役割を実現するための条件はなんだろうか。本特別シンポジウムでは阪奈地区における実践例（行政、大学、地域での実践者）をもとに、こうした問題を解きほぐし、食農教育の充実とチャレンジに結びつけたい。

コーディネータ：片岡 美喜（高崎経済大学）

報告①：「大阪府における食育の取り組みについて」（仮題）

中谷 健志（大阪府健康づくり課）

報告②：「食品学科を中心とする食育：大学からみる食育への取り組み方」

明神 千穂（近畿大学農学部）

報告③：「伝統作物の種子保全と大学への期待—大和高原シェアードプロジェクトの経験から」

國吉 賢吾（神戸大学大学院・農業）

コメンテーター：未定

4. パネルディスカッション「『地方創生』時代における大学の研究・教育・地域貢献」

10月29日(土) [14:50～16:45]

大学における重点領域（研究センター型、地域貢献型など）の設定、教育（いわゆるゼロ免課程）・人文系学部の改組（解体）、さらには「地方創生」対策の一環としての大学・地域間連携に対する関心の高まりを背景として、最近、食と農・生物産業や地域・コミュニティを冠する学部の創設が目立っている。

こうした動きは、学生の教育活動や大学の地域貢献活動としての意義・効果として論じられることが多いものの、研究（領域の拡大・総合化や新しい分析・方法論の提示など）の面から論じられることが少ない状況にある。

「地域」を冠し、「地域の実態に即して農林業問題に関する経済的・社会的研究を進め、農林業の発展に寄与する」(本学会 HP「目的と特徴」より)ことを目的とする本学会として、大学と地域をめぐる上述の動きをどのように受け止めるべきなのか。特に、地域を対象とした実証研究とそれに基づく政策化研究に向けて、どのような視角が提示され方法論が開発される可能性があるのか。こうした点をめぐって、最近新たに開設された学部の研究者も交えて議論することが、このパネルディスカッションの目的である。

コーディネータ：北川太一（福井県立大学経済学部）

パネリスト：① 中塚雅也（神戸大学大学院農学研究科）

② 霜浦森平（高知大学地域協働学部：2015年4月開設）

③ 玉真之介（徳島大学生物資源産業学部：2016年4月開設）

5. 個別報告

10月29日（土） 9:30～14:30（午前：個別報告優秀賞対象報告を含む）

10月30日（日） 9:00～13:00

- ①個人・連名報告は1件につき、30分（報告20分、質疑応答10分）を予定しています。
- ②筆頭報告者には、会員の資格が必要*です。非会員の方には、入会関係書類を送付しますので、至急、学会事務局までお申し出ください（学会 HP からのダウンロードも可能です）。また、同一筆頭報告者による報告は一報告に限りますので、ご注意ください。
*個別報告の申込期限（8月18日（木））までに、入会金と年会費の納入が必要です。
- ③個別報告の申し込み方法、プレゼンテーション用ファイル（PDF）の送付、個別報告論文投稿等については、【別紙】の1を参照してください。特に、インターネット経由に移行しているので、十分に注意してください（個別報告論文の投稿についても変更があります）。
- ④個別報告優秀賞には、大会時点（2016年10月29日時点）で37歳未満の若手会員の方ならば、応募することが出来ます。若手会員の積極的な応募を期待します。なお、個別報告優秀賞応募の方法については、【別紙】の2を参照してください。また、表彰規程、審査手続きの詳細については、学会 HP に掲載しておりますので、参照してください。
- ⑤今大会ではセッション募集は行いません。ただし、個別報告の時間帯で複数名がグループとして連続的に報告する形式を希望する場合には2～3時間程度の時間枠を提供しますので、企画担当理事（浦出俊和：urade@envi.osakafu-u.ac.jp）に申し出てください。なお、報告数が多い場合など承れない可能性があることをご了解ください。また報告論文として投稿を希望する場合には、個別報告論文投稿規程にしたがってください。

6. その他連絡事項

(1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約ください。

(2) 昼食について

10月28日(金)・29日(土)は、近畿大学生協食堂が営業しております。

10月30日(日)は、近畿大学生協食堂が閉店のため、大学周辺の飲食店をご利用ください。

(3) 懇親会の申し込みについて

懇親会への参加を希望される方は、下記の要領で e-mail にて、増田忠義(近畿大学)までお申込みください。

懇親会の準備の都合上、原則、事前申し込みをお願いします。なお、会費は当日、受付にてお支払いください。

宛 先：E-mail tadmasuda@nara.kindai.ac.jp

メールの件名：懇親会申し込み

メールの本文：①氏名、②所属、③連絡先住所、④連絡の取りやすい電話番号

申 込 期 限：10月18日(火)

そ の 他：複数名分を、一括してお申込みいただいても結構です。

(4) 大会期間中の保育室設置について

今大会では、お子様同伴で参加を予定される方のために、有償で利用可能な保育室の設置を予定しています。保育室の利用をご希望の方は、必ず9月26日(月)までに、下記の申し込み先へお子様の年齢・人数と利用日時をお知らせいただいております。

事前の申し込みがあった場合にのみ、保育室と保育係を準備いたします。

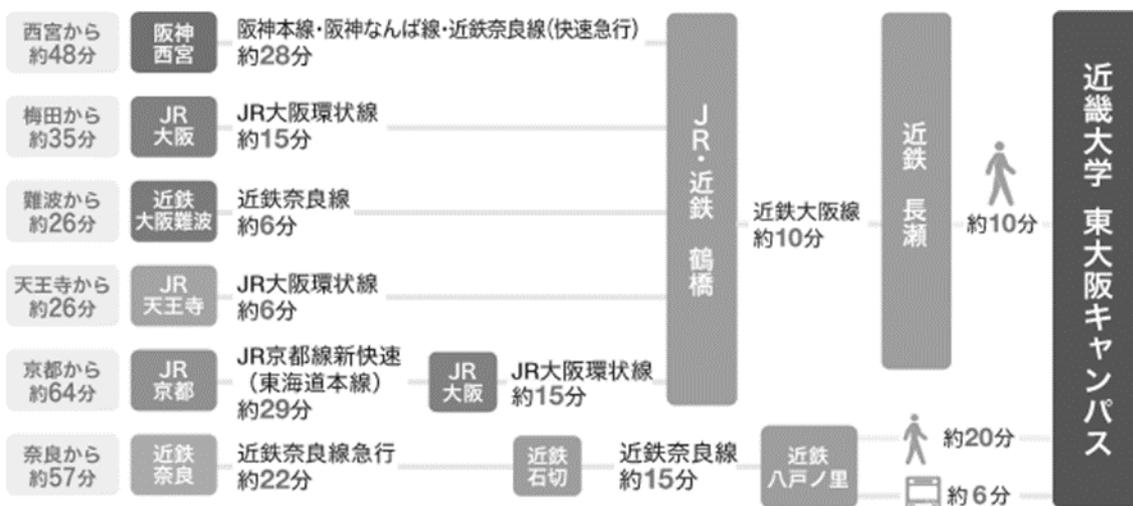
なお、個人負担額は1日：5000円、半日3000円です。

申し込み先：大会事務局長 多田稔 (E-mail: tadam@nara.kindai.ac.jp)

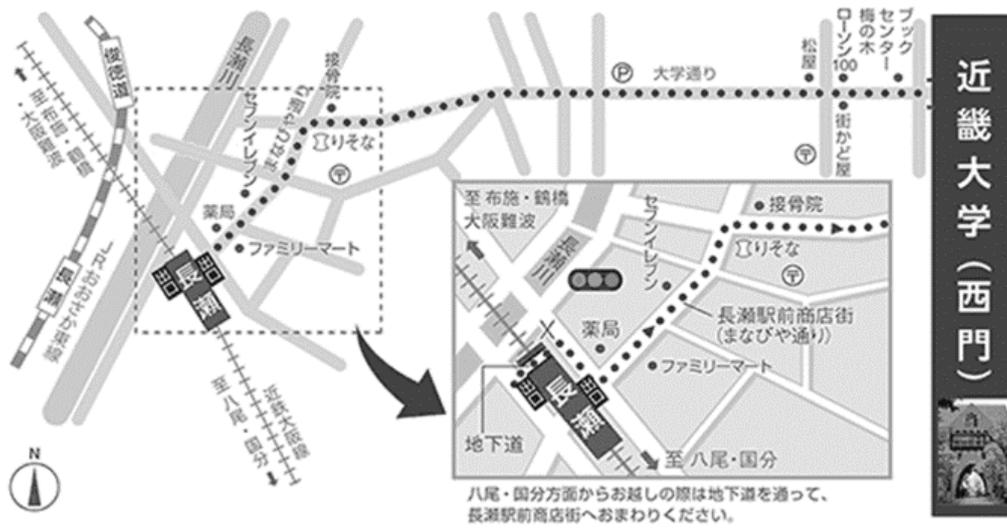
(5) 近畿大学東大阪キャンパスへの交通手段について

近鉄長瀬駅から徒歩約10分、近鉄八戸ノ里駅から徒歩約20分

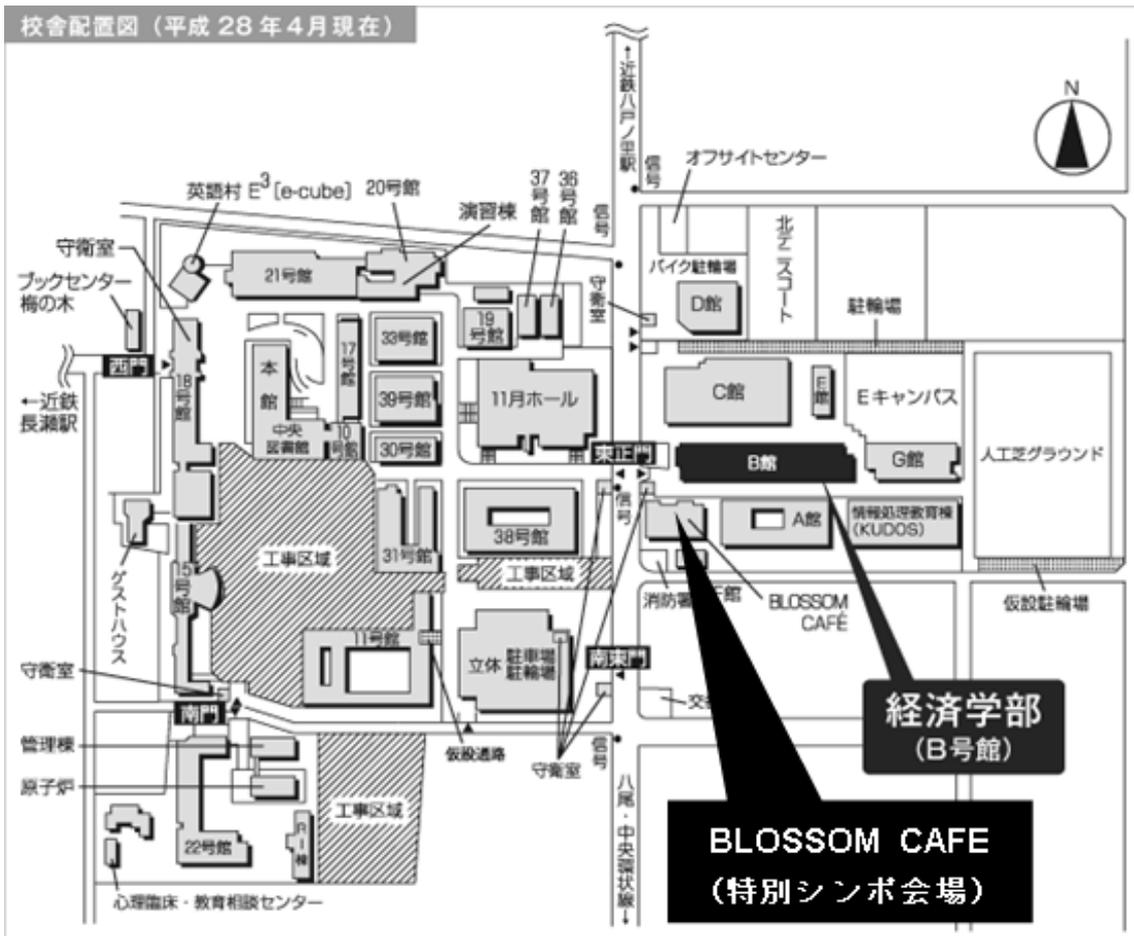
(詳しくは、<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/access.html> をご覧ください)



● 近鉄長瀬駅からの経路



● 経済学部 (B号館) の位置



【別紙】

1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法，プレゼンテーション用ファイルの送付，個別報告論文投稿に際しての注意事項などについて

(1) 個別報告の要旨原稿の様式

- ① 要旨原稿のフォーマットは，本学会HP (<http://a-rafe.org/>) の「学会誌」にある個別報告要旨様式（作成要領・見本）を参照して下さい。
- ② 要旨原稿は，ワープロで作成したファイルを，必ずPDFファイルに変換して下さい（A4サイズ，1枚）。
- ③ ファイル名は，下記の事例を参照して下さい。

例) (単独の場合) ○○大学・農経花子.pdf
 (複数の場合) ○○大学・農経花子他.pdf

また，所属機関の書き方は，下記の事例を参照して下さい。

例) (社会人の場合) ○○大学
 ○○研究所

(大学院生の場合) ○○大学大学院

(学部学生の場合) ○○大学△△学部

(日本学術振興会特別研究員の場合) 学振特別研究員・○○大学

(2) 申し込み方法

- ① 個別報告の申し込みおよび要旨原稿ファイル（PDFファイル）の提出は、インターネット経由で行ってください。
- ② 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/331d723232976>>です。
パスワードを聞いてきますので、「20160818」と入力してください。
（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。）
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」にも上記アドレスをリンクしていますので、そちらを利用して頂くことも出来ます。
- ③ 個別報告要旨は、当日配付する資料等には収録しておりません。個別報告要旨は学会HPにアップし、大会期間中は受付場所で閲覧できるようにしておきます。
- ④ 個別報告希望者は、8月18日（木）23時までに、上記のURLアドレスを開いて、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」に必要な事項を入力して下さい。また、フォームの「IX個別報告要旨のファイル（PDF形式に限る）を添付して下さい。」の欄では、参照のボタンをマウスでクリックし、すでに作成された要旨原稿ファイル（PDFファイル）を選択して下さい。
- ⑤ 一連の操作が終わりましたら、確認画面へのボタンをクリックして下さい。入力された事項が、一覧になって現れますので、入力ミスがあれば、[戻る]のボタンをクリックすれば、何度でも修正することが出来ます。もし、ミスがなければ、[送信する]のボタンをクリックして下さい。
- ⑥ 以上の結果、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。また、時間の余裕をもって申請してください。
- ⑦ 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」入力に関する質問は、電話では一切受け付けていません。また、入力ミスへの修正対応はできません。
- ⑧ 筆頭報告者は、本学会の会員に限られます。非会員の場合は、本学会HP<<http://a-rafe.org/>>の「会員・入会情報」から、入会申込書（PDF形式）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、8月18日（木）午後5時（必着）までに、学会事務局宛てに郵送ないしファックス送信してください。さらに、入会金1000円と学会費（年額）を、学会事務局の郵便貯金口座へ、8月18日（木）午後5時までに、学会事務局で振り込みが確認出来るように、手続きを済ませておいてください。

(3) 個別報告で使用するプレゼンテーション用ファイル（PDF）の送付について

1) 個別報告でPDFファイルを使用する場合（**PowerPointファイルは使用できません**）

- ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクターとPC（OSは、Windows7, 8, 8.1, 10のいずれか）で報告していただきます。
- ② PDF用ソフトは、Adobe Reader 8 (Ver8.1.2), Adobe Reader XI (Ver11.0.11), Adobe

Reader DC (Ver2015.016.20039)およびMicrosoft Edge (Windows 10のみ) のいずれかです。本学会HP上に掲載予定の個別報告一覧表において、各個別報告会場のPCのOSとPDF用ソフトを記載しますので、送付される前に、各会場で使用されるソフトで使用可能か、必ずご確認の上、お送り下さい。なお、PDFファイルを使用する場合であっても、紙媒体の配布資料も用意することが望ましいです。また、変換ミス等で使用できない等のトラブルによって、PCへの入力が不可能な場合でも、事務局では、変換等のお手伝いはしません。その対策としても、紙媒体の配布資料の持参をお勧めします。

③ PDFファイルのプレゼンテーション用原稿は、当日の混乱を避けるため、10月21日(金) 23時までに、インターネット経由で提出してください。(時間厳守：事務多用のため、締切以降は受け付けません)。

④当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/1d394ab732977>>です。パスワードを聞いてきますので、「20161021」と入力してください。

(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意ください。)

なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。

⑤ 会場でのPC使用の便宜のため、PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。

例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合

(単独の場合) 特0101・農経花子.pdf

(複数の場合) 特0101・農経花子他.pdf

報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合

(単独の場合) 0306・農経花子.pdf

(複数の場合) 0306・農経花子他.pdf

⑥ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をしてください。

2) 個別報告および大会セッションで紙媒体を用いる場合

従来通り、聴講者数分の部数を用意して、当日報告会場に持参してください(事務局では印刷の斡旋はしません)。

3) OHPは利用できません。

(4) 個別報告論文として投稿を希望する方へ

※個別報告論文の投稿方法が変更されています。主な変更点は、投稿プロセスの電子化、テンプレートファイル利用必須化の2点です。詳細な投稿方法や原稿作成要領等については、学会HPを随時参照してください。

① 「地域農林経済学会大会個別報告論文投稿要領」(学会HPに掲載、以下、個別報告論文投稿要領と略す)の2にしたがって、「大会前提出原稿」を作成し、10月13日(木) 23時までに(郵送の場合は消印有効)、個別報告座長宛てに1部送付(メールまたは郵送)して下さい。個別報

告座長については、学会HPで確認してください（9月中頃掲載予定）。「大会前提出原稿」を作成する際には、学会HPに掲載されている「個別報告論文テンプレート」を用いる必要があります。

- ② 併せて、「大会前提出原稿」は、10月13日（木）23時までに、インターネット経由で提出してください（PDFファイルに変換のこと）。
- ③ 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/f8970ece32990>>です。
パスワードを聞いてきますので、「20161013」と入力してください。
（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。）
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URL にリンクしてありますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。
- ④ PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。
例）報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合
（単独の場合）特0101・農経花子.pdf
（複数の場合）特0101・農経花子他.pdf
報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合
（単独の場合）0306・農経花子.pdf
（複数の場合）0306・農経花子他.pdf
- ⑤ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。
- ⑥ 大会終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については、大会前に常任編集委員会から投稿案内がメールにて送付される予定です（本学会HPでも告知します）。個別報告論文の書き方・提出方法等については、本学会HPに掲載される「個別報告論文テンプレートファイル」および「個別報告論文投稿要領」に従ってください。
- ⑦ 連名報告での報告者の順位と、個別報告論文での執筆者の順位は、同じでなければなりませんので、ご注意ください。

2. 個別報告優秀賞の応募方法について

- ① 個別報告優秀賞は、個別報告の中から優秀な論文を選考するものですから、報告は通常の個別報告と同様、個別報告会場で行っていただきます。
- ② したがって、個別報告優秀賞に応募される方は、まず、個別報告に申し込んでください。
申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付方法、「大会前提出原稿」の送付方法等は、一般の個別報告に申し込まれる方と、まったく同じです（【別紙】1.（4）参照）。
なお、「大会前提出原稿」の提出が必須です。「大会前提出原稿」の提出がない場合には、一般報告扱いになりますので、ご注意ください。
- ③ その上で、個別報告を申し込まれる際に、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」の質問項目のうち、【Ⅷ個別報告優秀賞への応募を希望しますか？】、【「はい」と希望した場合には、2016年10月29日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】、【今回の応募は、研究論文等として投稿中の研究ではありませんね？】に、必要事項を記入し送信してください。なお、個別報告優秀賞への応募できるのは、2016年10月29日時点での筆頭報告者の

年齢が37歳未満の場合です。また、すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。ご注意ください。

3. 個別報告、個別報告優秀賞に関する問い合わせ先

(1) 個別報告の「申し込み」、個別報告優秀賞審査対象論文の「応募」に関する問い合わせ先

企画担当理事（大阪府立大学・浦出俊和：urade@envi.osakafu-u.ac.jp）

*学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。

*申請フォームの入力ミスへの修正対応はできません。

(2) 個別報告「大会前提出原稿」に関する問い合わせ先

常任編集委員会（editors@a-rafe.org）

*学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。